

ミラソーレ修道院、Abbazia di Mirasole — オペラ、Opera

久しぶりに本来の主旨に戻って、サンドナート近郊にあるミラソーレ修道院を訪ねました。サンドナートの東にあるオペラ（Opera）という名の街の外れにあり、畑に囲まれた田舎にぼつんと建っている修道院です。サンドナート近郊では、キアラヴァッレ、ヴィボルドーネとこのミラソーレの3つが代表的な修道院です。いずれも、この地域の農業や酪農の発展に貢献した、本来あるべき姿の修道院です。この修道院もヴィボルドーネ修道院と同様に、もともと Umiliati の修道院でした。ヴィボルドーネ修道院でも書きましたが、Umiliati（英語では Humilitate）とは、11世紀にロンバルディアにて形成された平民によるローマンカトリックの団体で、12世紀には教皇の加護のもとで修道会を形成しましたが、16世紀には抑圧されて消滅しています。従って、この修道院も1582年に所有権をミラノ大学に移されています。最終的には、1797年に、ミラノのオスペダーレ（病院）・マッジョーレに所有権が移されました。

修道院を建て始めたのは13世紀ですので、ヴィボルドーネ修道院より100年ほど遅くなります。しかし、この修道院は16世紀から使われていないので、かなり荒れ果てていたようです。聖母マリアの被昇天の教会は14世紀後半から15世紀の前半に建てられたもので、単身廊の小さな教会で屋根は木造です。内部の祭壇のところにフレスコ画が残っています。鐘楼は13世紀に建てられたものが現存しています。1980年に、この修道院を15世紀の状態に戻して保存できるように修復作業が開始されました。教会と一部の建物が終わっていますが、中庭を始め回廊もまだ工事中で見ることが出来ません。修復後にはミラノのオスペダーレ・マッジョーレにある医療の歴史に関する図書と絵画のコレクションをこの修道院に移すことを決めています。1994年に既に医療の歴史図書は修復された修道院の図書館に移設されているそうです。このような状態なので、ミラソーレ修道院は他の2つの修道院と比べるとかなり見劣りします。





この修道院で一番有名なのは、今は見る事が出来ませんが、回廊にある太陽・三日月の中に人の顔を描いた模様です。この模様は現在のミラノの紋章の原型（ミラノの紋章には顔の部分が無い）となっています。太陽は時を表し、月は季節と（潮の満ち干きによる）気候の変化を表していて、2つで農業に関連したカレンダーと時計を示しているとのこと。また、太陽は光と熱で、月は影と反射であり、この両方で能動と受動が同時に進行する事を意味しているそうです。



ミラソール修道院



ミラノ県の紋章

ミラソール修道院までは ATM バス 99 番の終点ノヴェラスコの一つ手前の停留所から歩くこととなります（詳しくは下記を参照してください）。ノヴェラスコから東西に走る大きな高速道路（西環状線）方向に進み、高速道路の近くで細い自転車・歩行者用の道に入り高速道路の下をくぐります。高速道路をくぐると T 字路があり、そこを右折してまた東に進みます。今度は南北に走る高速道路の上を越えると並木道になり、更に東に真直ぐ進むとミラソール修道院が見えてきます。バスの停留所から 20 分くらいです。高速道路を越えると、一面田園地帯となります。いい散歩道です。日曜日だったのでジョギングとサイクリングをしている人がいっぱいいました。それに、きれいな鳥も出てきました。こんなに大都市ミラノに近いのにこんな自然が見られるとは、都会育ちの私には信じられません。ちょっと、散歩のつもりで行くにはちょうど良いところです。ちなみに、行きは、地下鉄と 95 番、99 番のバスを乗り継いで全部で 1 ユーロ、帰りは、99 番のバスから 24 番のトラムに乗り継いでドゥオモまで、約 40 分弱で着きました。ドゥオモで 30 分以上ぶらぶらした後、地下鉄でサンドナートまで戻って全部で 1 ユーロでした。ですから、ミラソール修道院とドゥオモを入れて、交通費は全部で 2 ユーロです。安いですね。



ミラソーレ修道院へは、サンドナートからミラノに戻って ATM99 番のバスで行くのが一番早いようです。ATM99 番のバスは、地下鉄 M3 のコルヴェット駅から 95 番のバスで Ripamonti-Quaranta の停留所まで行き、そこで乗り換えます。Quaranta 通りが 99 番のバスの出発点です。Ripamonti-Quaranta からは、ドウオモから 24 番のトラムでも行く事が出来ます。

99 番のバスの終点はノヴェラスコ (Noverasco) ですが、終点のノヴェラスコ (終点には何故か停留所が 2 つあります) はミラノの外でオペラの街の管轄区になります。ノヴェラスコの一つ手前の停留所までがミラノの管轄ですから、1 ユーロの範囲ならそこで降りなくてはいけません。1 つ手前と言ってもノヴェラスコの停留所から 2,30 メートルしか離れていません。この停留所はミラノの中ですから、75 分以内ならサンドナートからの 1 ユーロのチケットでここまで来ることが出来ます。ノヴェラスコまで乗ると、多分、U+ $\frac{1}{2}$ Zona ですから 1.55 ユーロとなります。でも、まず、追加は取られないと思います。私は、手前の停留所で降りました。帰りもノヴェラスコから乗ると 1.55 ユーロになってしまいますから、2,30 メートル先の停留所から乗ってください。99 番のバスは、日曜日でも 30 分-1 時間間隔でありますから、日曜日に行っても問題ありません。

余談ですが、この修道院の近くにロンバルディア州最大規模の米・酪農農家があります。農場総面積 260 ヘクタールで、その内訳は 150ha が水田、50ha が乳牛の飼料用のとうもろこし畑、30ha が大豆畑、そして 30ha が牧草地となっているそうです。酪農を経営するのはミラソーレ農場、そして米を作っているのがモンタルバーノ農場で、この二つの農場からなっているのでミラソーレ&モンタルバーノ農場と呼ばれています。この農場も見学が出来るそうです。ひょっとすると農場の中に直営店くらいあるのかもしれませんが。でも、車でも持ってないと買っても重くて持って帰るのが大変です。